

2024 年 3 月期 決算説明会 主な質疑応答内容

2024 年 5 月 17 日（金）に開催致しました、弊社「2024 年 3 月期 決算説明会」の主な質疑応答の内容について以下に記します。

なお、記載内容につきましては、質疑応答の内容をご理解いただきやすい様、表現の変更や加筆・修正を行っておりますのでご了承下さい。

問 1. 中期経営計画でも 2 輪のエンジン補機ビジネスは EV と並行してまだ続けていくとの事だが、いつ頃まで維持できているのかお聞かせいただきたい。

答 1. 2 輪市場の EV 化は、4 輪市場に比べて 5 年程度遅れて動くものと考えている。競合他社の動きもあり、2035 年頃までは現状の事業規模を大きく下げることなく、当該 2 輪のエンジン補機ビジネスを継続できるものと考えている。

問 2. 親子上場の資本政策方針について伺いたい。特にタツミは現在、上場維持基準に流通株式時価総額が抵触している状況であるため、これの対応も含めてお教えいただきたい。

答 2. 確定的な事はこの場ではお答えしかねるが、タツミについては 2 年の猶予期間内に何らかの対応をしたいと考えている。

また、もう 1 社の上場子会社である両毛システムズについては、当該社の成長戦略の中で子会社の独立性を維持しながら進めていくものと考えている。

問 3. 小型モーターのビジネスについては、競合環境を考慮すると単価の向上や標準化が肝になると考えるが、ミツバとしてはどうやって利益を確保していくのか戦略をお聞かせいただきたい。

答 3. 小型モーターの領域はレッドオーシャンであり、コスト競争に晒されているものと考えている。

そこで弊社では、SDV(ソフトウェア・デファインド・ビークル)への発展を視野に、上位統合 ECU との繋がりのためのコントローラー(エレキ)との統合による付加価値向上を考えている。

なお、エレキとソフトウェアについては現状内製でやっているが、今後はソフトウェアのウェイトが高くなっていくことから、アライアンスも含めての対応を考えている。

問 4. 中期経営計画に構造改革の一環として拠点再編を掲げているが、その進捗状況を足下の円安を受けての方針変更の有無も含め教えて欲しい。

答 4. 概ね計画通りに進捗している。

直近の実績として、北米ではメキシコ拠点での一部工場の閉鎖を行うとともに、少しずつではあるが生産移管を進めている。また欧州では、イギリス拠点の閉鎖やロシア生産拠点の休眠化は完了し、他拠点での生産移管による規模縮小等を進めていく。

以上